



平成23年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月22日

上場会社名 株式会社タカショー 上場取引所 大
 コード番号 7590 URL http://takasho.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高岡 伸夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 寒川 浩 TEL 073(482)4128
 四半期報告書提出予定日 平成22年12月3日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年1月期第3四半期の連結業績(平成22年1月21日～平成22年10月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年1月期第3四半期	10,427	0.6	702	△1.1	646	△9.5	361	△5.9
22年1月期第3四半期	10,362	—	710	—	714	—	383	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年1月期第3四半期	42 68	— —
22年1月期第3四半期	45 24	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年1月期第3四半期	10,926	4,344	39.5	518 31
22年1月期	9,322	4,206	45.1	496 05

(参考) 自己資本 23年1月期第3四半期 4,312百万円 22年1月期 4,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年1月期	— —	0 00	— —	14 00	14 00
23年1月期	— —	0 00	— —	— —	— —
23年1月期(予想)				14 00	14 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年1月期の連結業績予想(平成22年1月21日～平成23年1月20日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,946	1.5	619	6.7	570	△2.4	345	16.6	40 68

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年1月期3Q	8,679,814株	22年1月期	8,679,814株
23年1月期3Q	360,304株	22年1月期	199,864株
23年1月期3Q	8,459,959株	22年1月期3Q	8,479,970株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注意事項)

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成22年1月21日～平成22年10月20日)におけるわが国経済は、中国やインドなどの新興国の経済成長や政府の経済対策等により景気は穏やかな回復基調で推移したものの、雇用情勢は依然として厳しく、欧米の景気不安懸念による急激な円高の進行や株価低迷など、先行き不透明な状況が続いております。

当社を取り巻くガーデニング業界におきましても、住宅施策や税制面での優遇処置の影響もあり、低迷を続けてきた建築着工戸数に下げ止まり感が見られ、さらに長期金利の低下も住宅投資の追い風となり持ち直しの兆しがあるものの、依然として低水準な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、ガーデンは家での暮らしにおける5番目の部屋である「5thROOM」(フィフスルーム)を提唱し、新商品のラインアップ充実と市場への啓発活動に注力いたしました。また今期より夜の庭を演出する「光」について住む人の生活習慣や庭のスタイルに合わせて、目的・効果を的確に提案・施工することで庭の付加価値を高めることを目的に、庭に従事される業者を対象に研修を通じて認識を深める当社認定制度である「エクステリア&ガーデンライティング」マイスター制度を開始いたしました。また、中国における工場政策において、自社品質基準の強化や在庫機能とデリバリー体制の構築を図り、ガーデニング用品のグローバル化を進めてまいります。

売上高につきまして、プロユース部門では、低水準な住宅投資状況が続く中、夜の庭を演出する「光」について当社認定制度である「エクステリア&ガーデンライティング」マイスター制度の開始や家と庭をつなぐ空間となる「ポーチガーデン」シリーズが順調に売上を伸ばしたことから、前年同四半期並みに推移いたしました。

ホームユース部門では、下半期に入り好天候が持続したことから鈍化していた商流が動き始めたことにより顕著に売上を伸ばしたものの、上半期の異常気象による春の立ち上がりの大幅な遅れや、天候不順による夏物商材の販売低迷が影響し、前年同四半期と比べ減少いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高10,427,474千円(前年同四半期比0.6%増)、営業利益702,729千円(前年同四半期比1.1%減)、経常利益646,846千円(前年同四半期比9.5%減)、四半期純利益361,069千円(前年同四半期比5.9%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結累計期間末における資産合計は10,926,885千円(前連結会計年度末と比べ1,604,276千円増)となりました。

流動資産においては、ガーデニング業界における季節要因による売上増加に伴い受取手形及び売掛金が3,121,630千円(前連結会計年度末と比べ733,643千円増)、また現金及び預金においても売上代金の現金化が進んだことにより1,843,012千円(前連結会計年度末と比べ279,489千円増)となりました。

固定資産においては、子会社において工場建設用の土地取得が行われたことから土地が500,024千円(前連結会計年度末と比べ195,579千円増)となりました。

流動負債においては、流動資産同様季節要因により、支払手形及び買掛金が1,989,997千円(前連結会計年度末と比べ748,529千円増)となりました。

固定負債においては、主に投資計画に基づく調達が増加したことにより長期借入金が1,573,039千円

(前連結会計年度末と比べ557,834千円増)となりました。

純資産においては、4,344,750千円(前連結会計年度末と比べ137,952千円増)となりました。これは利益剰余金が3,314,125千円(前連結会計年度末と比べ242,350千円増)あったものの、利益処分による配当の支払いが118,719千円あったことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、売上債権が増加したものの、税金等調整前四半期純利益の増加および長期借入金の増加等により前連結会計年度末に比べ279,489千円増加し、1,843,012千円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、256,521千円(前年同四半期は374,088千円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が638,055千円(前年同四半期は687,278千円)および仕入債務の増加額763,045千円(前年同四半期は359,531千円の増加)があったものの、売上債権の増加額747,335千円(前年同四半期は720,066千円の増加)および法人税等の支払額427,294千円(前年同四半期は146,684千円の支払)があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動による資金の支出は、432,085千円(前年同四半期は65,619千円の支出)となりました。これは主に、設備投資による土地取得により有形固定資産の取得による支出388,212千円(前年同四半期は54,085千円の支出)および無形固定資産の取得による支出70,813千円(前年同四半期は8,290千円の支出)があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動による資金の収入は、489,552千円(前年同四半期は116,319千円の支出)となりました。これは主に、設備投資計画に基づく調達を含む長期借入れによる収入1,698,938千円(前年同四半期は900,044千円の収入)があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点におきましては、平成22年8月12日に発表いたしました業績予想に修正はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

① たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、当第2四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費を期間按分して算定する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年10月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年1月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,843,012	1,563,523
受取手形及び売掛金	3,121,630	2,387,986
商品及び製品	1,818,483	1,803,318
仕掛品	123,368	107,657
原材料及び貯蔵品	397,141	357,648
繰延税金資産	180,319	141,656
その他	212,746	163,124
貸倒引当金	△14,948	△55,230
流動資産合計	7,681,752	6,469,685
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,519,780	1,600,996
土地	500,024	304,445
建設仮勘定	304,409	132,971
その他(純額)	132,100	90,036
有形固定資産合計	2,456,315	2,128,450
無形固定資産		
のれん	8,454	16,452
その他	169,643	80,198
無形固定資産合計	178,098	96,650
投資その他の資産		
投資有価証券	83,370	69,978
繰延税金資産	1,633	1,557
その他	544,285	570,731
貸倒引当金	△18,570	△14,445
投資その他の資産合計	610,718	627,821
固定資産合計	3,245,132	2,852,922
資産合計	10,926,885	9,322,608

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年10月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年1月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,989,997	1,241,467
短期借入金	1,018,879	1,200,578
1年内返済予定の長期借入金	1,085,899	882,100
未払法人税等	146,026	271,355
賞与引当金	105,648	44,181
その他	604,290	406,469
流動負債合計	4,950,742	4,046,153
固定負債		
長期借入金	1,573,039	1,015,205
退職給付引当金	5,304	5,055
繰延税金負債	23,781	33,537
その他	29,265	15,857
固定負債合計	1,631,391	1,069,655
負債合計	6,582,134	5,115,809
純資産の部		
株主資本		
資本金	570,560	570,560
資本剰余金	593,383	593,383
利益剰余金	3,314,125	3,071,774
自己株式	△94,023	△35,141
株主資本合計	4,384,045	4,200,577
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	206	1,724
繰延ヘッジ損益	△42,493	△4,419
為替換算調整勘定	△29,655	8,602
評価・換算差額等合計	△71,941	5,907
少数株主持分	32,647	313
純資産合計	4,344,750	4,206,798
負債純資産合計	10,926,885	9,322,608

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月21日 至平成21年10月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月21日 至平成22年10月20日)
売上高	10,362,558	10,427,474
売上原価	5,772,734	5,902,040
売上総利益	4,589,824	4,525,434
販売費及び一般管理費	3,879,139	3,822,705
営業利益	710,684	702,729
営業外収益		
受取利息	6,617	655
為替差益	25,401	—
受取手数料	30,595	39,244
その他	20,832	16,748
営業外収益合計	83,445	56,648
営業外費用		
支払利息	67,311	66,208
為替差損	—	36,446
その他	12,079	9,876
営業外費用合計	79,391	112,531
経常利益	714,738	646,846
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5,238	—
固定資産売却益	191	25
ポイント引当金戻入額	4,024	—
特別利益合計	9,454	25
特別損失		
固定資産除却損	1,743	5,550
固定資産売却損	70	—
投資有価証券評価損	—	3,266
関係会社出資金評価損	2,880	—
貸倒引当金繰入額	32,220	—
特別損失合計	36,914	8,816
税金等調整前四半期純利益	687,278	638,055
法人税、住民税及び事業税	371,759	299,181
法人税等調整額	△82,184	△21,576
法人税等合計	289,574	277,604
少数株主利益又は少数株主損失(△)	14,102	△619
四半期純利益	383,600	361,069

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月21日 至平成21年10月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月21日 至平成22年10月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	687,278	638,055
減価償却費	137,827	125,776
のれん償却額	7,883	7,997
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	22,682	△36,156
賞与引当金の増減額 (△は減少)	63,386	61,466
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	387	249
受取利息及び受取配当金	△6,722	△1,461
支払利息	67,311	66,208
為替差損益 (△は益)	1,586	11,098
売上債権の増減額 (△は増加)	△720,066	△747,335
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△75,958	△129,741
その他の資産の増減額 (△は増加)	10,880	△80,780
仕入債務の増減額 (△は減少)	359,531	763,045
その他の負債の増減額 (△は減少)	53,877	63,917
その他	△27,378	7,098
小計	582,506	749,437
利息及び配当金の受取額	6,722	1,461
利息の支払額	△68,456	△67,083
法人税等の支払額	△146,684	△427,294
営業活動によるキャッシュ・フロー	374,088	256,521
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△54,085	△388,212
無形固定資産の取得による支出	△8,290	△70,813
投資有価証券の取得による支出	△30,310	△19,285
子会社株式の取得による支出	△24,000	—
短期貸付けによる支出	△13,757	△15,000
短期貸付金の回収による収入	75,881	28,614
その他	△11,058	32,611
投資活動によるキャッシュ・フロー	△65,619	△432,085
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	488,834	261,443
短期借入金の返済による支出	△508,351	△388,139
長期借入れによる収入	900,044	1,698,938
長期借入金の返済による支出	△929,223	△937,128
少数株主からの払込みによる収入	10,757	35,000
配当金の支払額	△76,320	△118,719
その他	△2,059	△61,843
財務活動によるキャッシュ・フロー	△116,319	489,552
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,440	△34,498
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	193,591	279,489
現金及び現金同等物の期首残高	1,386,677	1,563,523
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,580,268	1,843,012

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。